

県で働く獣医師の仕事

私は現在、西部農林振興センター川本家畜衛生部(川本家畜保健衛生所)に所属し、家畜の防疫業務を担当しています。家畜の防疫業務とは家畜(牛、豚、鶏、みつばちなど)の伝染病の発生を予防することや万一発生した場合にその伝染病の拡大を抑えることです。普段は主に、農場で採取した血液や糞便を検査して病気がないかを調べたり、死亡した家畜を病理解剖してその原因を調べたりしています。また、検査した結果は農家の方にお返しし、病気の対策や予防のために話し合いや指導を行っています。この仕事は家畜の健康を守るだけでなく、最終的には私たちの食卓への安全な畜産物(牛乳や肉など)の提供につながっています。

島根県職員獣医師の職場は私が所属する家畜衛生部だけではなく、家畜病性鑑定室や畜産技術センターといった畜産に関わる検査・研究機関、保健科学研究所や食肉衛生検査所といった公衆衛生に関わる検査・研究機関、また公衆衛生や動物愛護を担当する保健所などがあり、さまざまな職場で獣医師が活躍しています。

島根県では県職員獣医師のさまざまな仕事を体験できるインターンシップを毎年夏休みの期間に開催しています。私は広島県出身ですが、このインターンシップを通じて仕事内容を知り、魅力を感じ、島根県で働くことを決めました。実際に県職員の獣医師がどんな仕事をしているのかを知る・体験できる絶好の機会です。他の獣医系大学の人も交流できますので、興味のある方はぜひ参加してみてください。

県職員獣医師の仕事内容は畜産から公衆衛生まで幅広いですが、県の畜産業や公衆衛生を支える重要な仕事で、その分やりがいは大きいです。ぜひ島根へ、皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！



西部農林振興センター
川本家畜衛生部所

鈴木 郁也

[平成27年度採用]

<採用後の勤務歴>

平成27年度～ 西部農林振興センター川本家畜衛生部